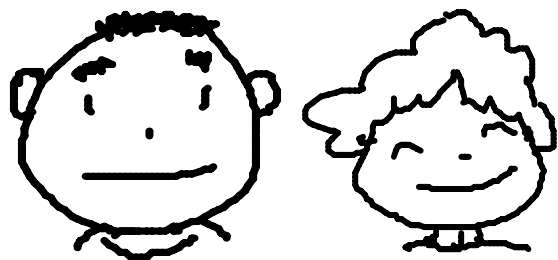


10秒映画の学習方法

～課題の進め方について～



言語・学習指導室
葛西ことばのテーブル

三好純太

10秒映画:学習の流れ

映画の視聴

感想を聞く

内容の理解を問う

文章化させる

ナレーションさせる

伝達させる

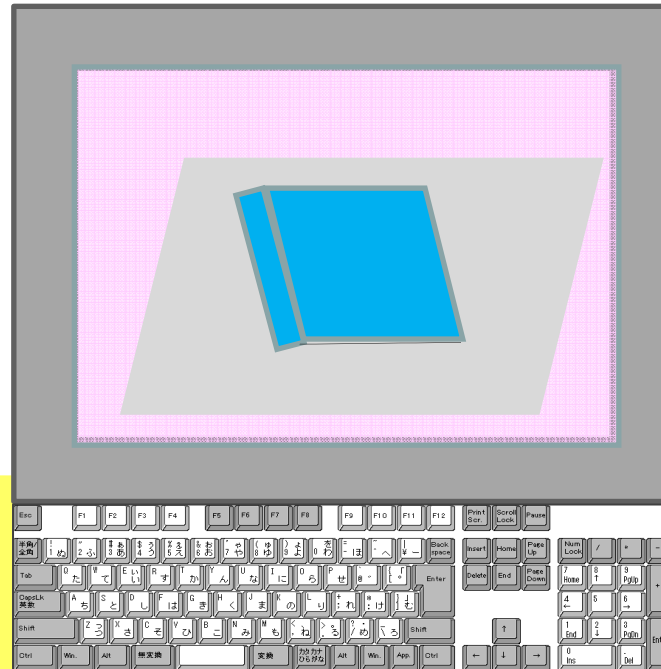
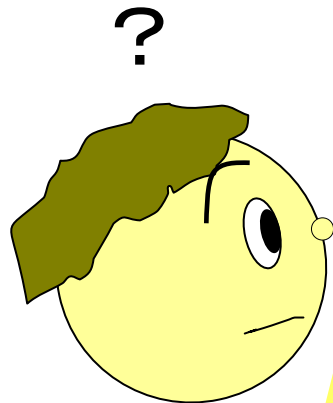
ストーリーの
再現

題材 10秒映画:No. 2 「本」

映画の視聴

まず、いっしょに
映画を観る

【メディア】
パソコン・テレビ

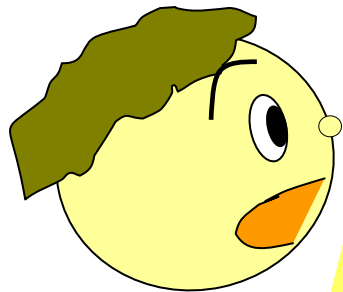


作品の視聴

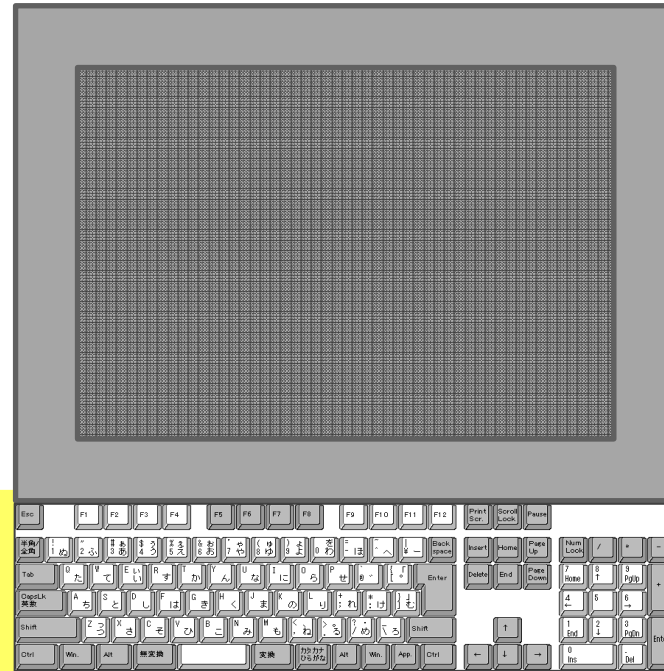
★外在化された表現の認識

感想を聞く

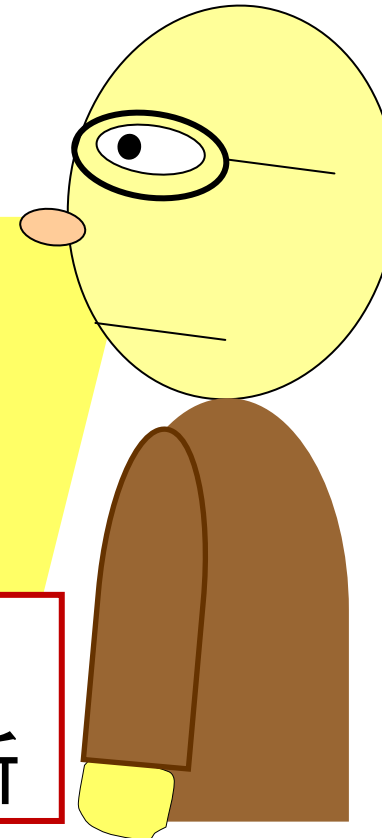
どうだった？



..へんだった！

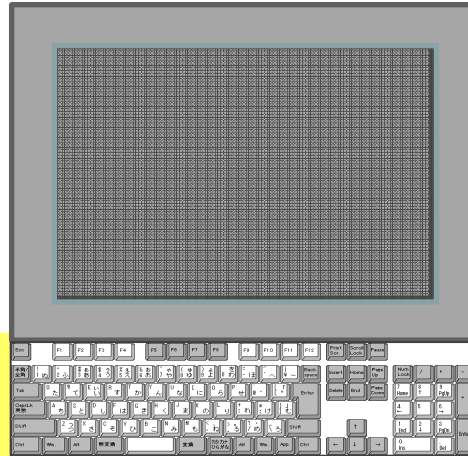


作品への
評価・判断



内容の理解を問う

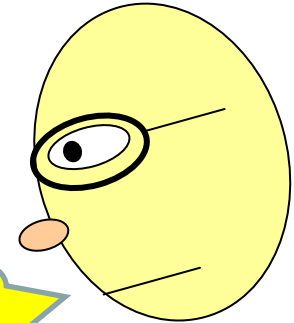
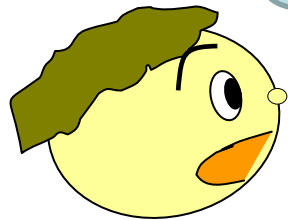
プロセスや
状況についての
質問をする



まず、机の上に
何が、あった？

本！

その本、
何色だった？



題材－質問関係の理解

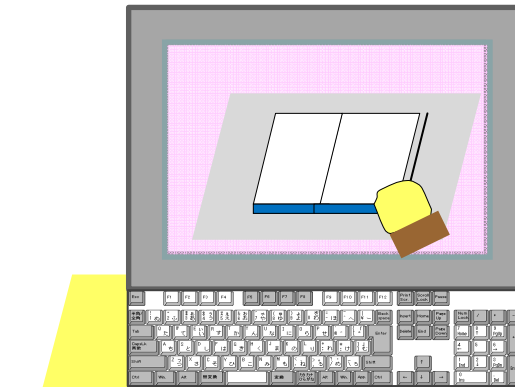
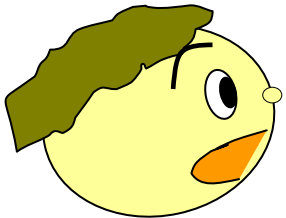
記憶・注意の喚起

すべて視聴後の質問が難しい場合

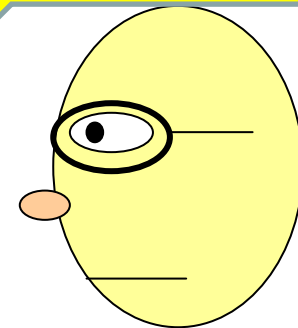
直前質問

事態が出現する直前で映像を一時停止して、質問する

トランプ！



ほら、つぎ、めくると、何が、出てくるんだっけ？



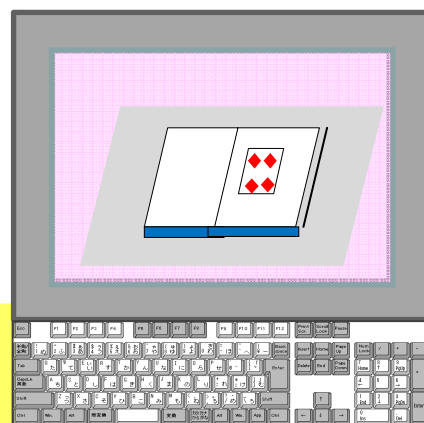
★ 非現前の事柄の想起

事態出現前の質問が難しい場合

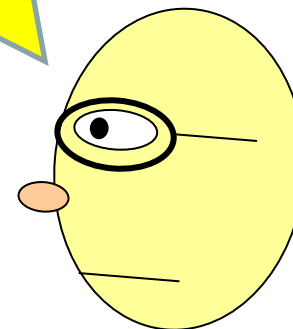
直後質問

事態が出現した後に映像を止めて、質問する

トランプ！



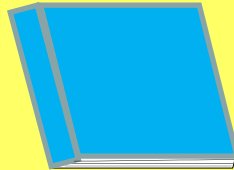
あ、ほら、
何、出てきた？



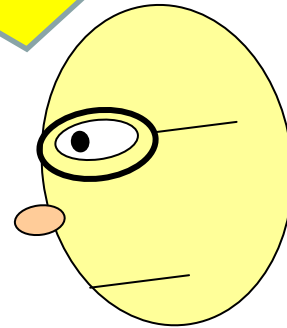
ストーリーの再現

実物を使って、
プロセスを再現させる

あ！



ほら、おんなじの
あるよ。どう、
やってたっけ？



★発語がない子どもの
内容理解が確認できる

★理解が
補強できる

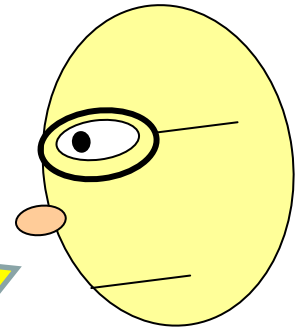
文章化させる

① 題名(タイトル)をつける

んーっと…
「本！」



じゃ、おはなしに
してみよう。
まず、タイトルは、
何にしようか



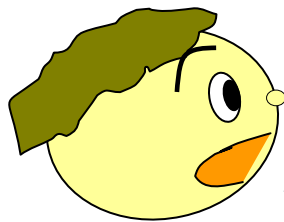
ストーリーの集約化

文章化させる

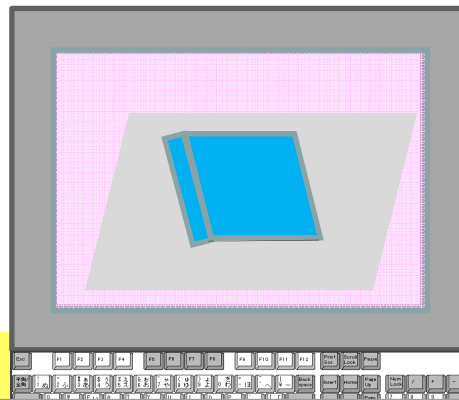
②内容を文章化させる

文を文字化

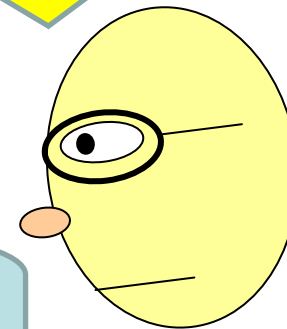
* 紙に書く・パソコンに打つ



えーと・・・つくえの上に
青い本がありました



じゃ、おはなしに
してみよう。
まず？..



ストーリーの叙述

シーンごとに文章化 易

視聴後に文章化 難

文章化させる

ことばのテーブルでの 実施方法

- ノートPCの
モニターに
2分割呈示

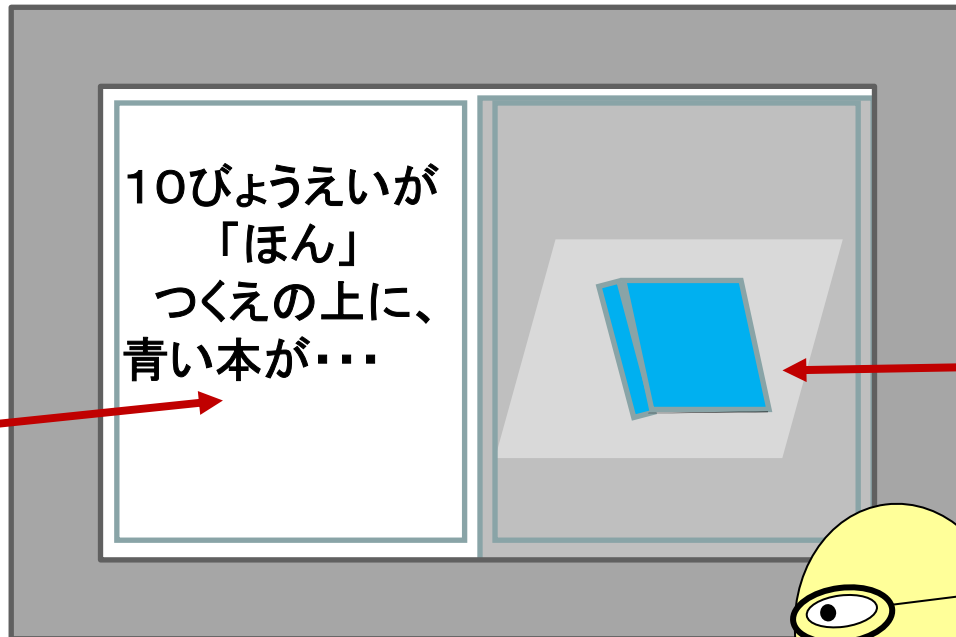
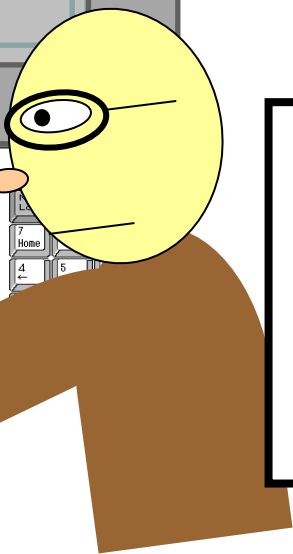
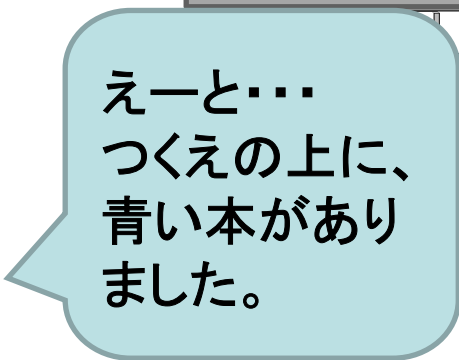
文章表示
パワーポ
イント使用

10びょうえいが
「ほん」
つくえの上に、
青い本が…

映像表示
メディアプレー
ヤー等使用

えーと…
つくえの上に、
青い本があり
ました。

口頭で作
成させた
文章を
逐次入力

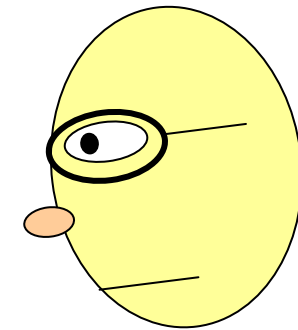
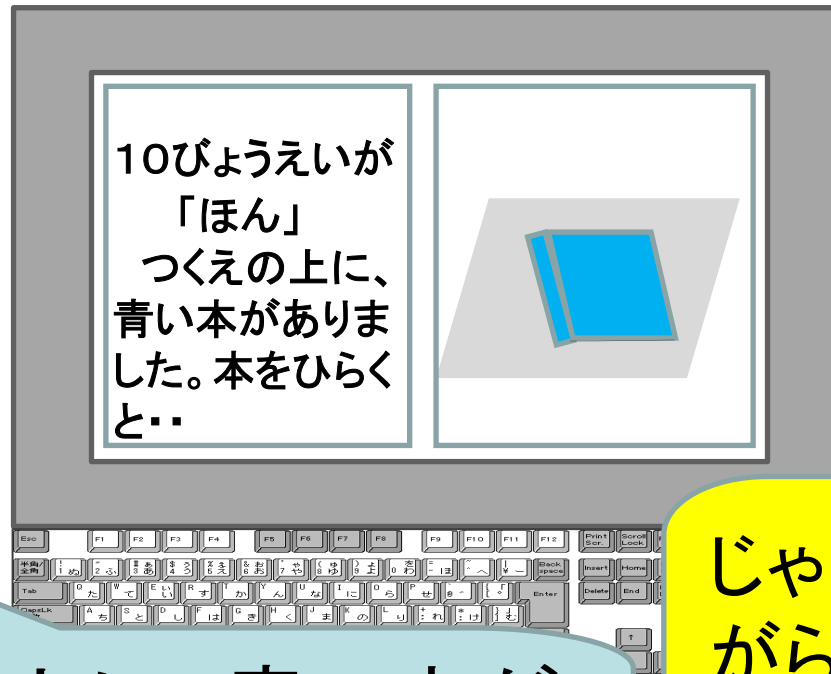


ナレーション

文章化した内容を、映像に合わせて語る



つくえの上に、青い本がありました。その本を..

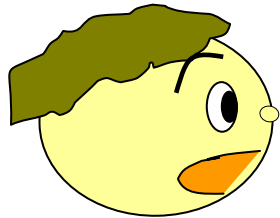


じゃ、映画をみながら、ナレーションしてみよう！

語りと映像との協応

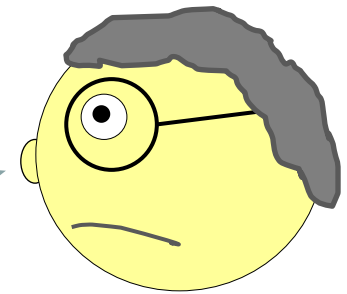
伝達させる

視聴した内容を、見ていない人に伝える



今日ね、こんなの見たんだよ。えーとね、青い本があってね・・・

・・・ふーん



見てない人

説明補充

* 知識の異なりの理解

不明部分の質問

学習を進める上で

- 子どもの能力状況に応じて、課題内容を検討

<学習例>

話し言葉での表出が難しい場合

視聴のみ

プロセスの再現

文字未習得の場合

内容質問

口頭での文章化練習

学習を進める上で

●映像の一時停止の活用

<使用例>

1シーン(1プロセス)ごとに区切った言語化

ナレーションの際の、音読状況への合わせ

補足資料

「作品」概念の形成

表現された作品という存在の気づき

作品とは何か

一定の内容・まとまりを持つもの

童話

小説

絵本

詩

戯曲

評論

学術書

歌

踊り

語り

工芸

演芸

園芸

アニメ

マンガ

絵画

映画

演劇

音楽

料理

原作



表現媒体

「作品」という概念の形成

いま・ここを離れた世界が必要

= 過去・未来・仮想世界

「もの」ではなく「こと」が必要

= 作品はすべて「こと」

その表現された「こと」を、「自分の外側に認識」し、その様子を「覗きこみ」、「感じ」、「考える」

作品の鑑賞に求められるもの

強い能動性

* 「見る」ではなく ⇒ 「覗き込む」

作品に対する印象・情緒・判断

* おもしろかった つまらなかった
むずかしかった かなしかった・・・

作品＝表現の外化 ⇒ 自己の主観が同期するもの

作品概念を持つためには

さまざまな表現媒体を鑑賞する

子どもにとって親しみやすい形式・内容を選定する

同一の原作をさまざまな形式で鑑賞する

感想・印象・評価を求める

内容に関して質問する

タイトルの記憶・名づけ

文字で書かれた作品
＝読解

映像作品
＝視聴解？

題材－質問関係の理解